平成29年度 小学校教職員を対象とする環境教育研修会 実施報告 「やってみよう!環境学習プログラム」第4回「"水"調査隊」実施報告(テーマ:水)

□実施日時 平成29年8月9日(水) 10時00分~16時15分

□受講者数 10名(教員7名、研修·聴講者3名)

□実施場所福生市立福生第五小学校、福生市周辺の多摩川

□実施内容

【午前】

1. 事務連絡 開講挨拶等

- ・事務局から受講上の注意、全体スケジュール等の説明
- ・環境局総務部環境政策課から開講挨拶等

2. ゲストティーチャーからの講義及び実習

(ゲストティーチャー: NP0法人自然環境アカデミー専務理事 野村亮氏)

(1) 多摩川の水生生物の調査

- ・救命胴衣の付け方、川に入る諸注意の説明
- ・各自、水生生物調査を開始













【午後】

(2) 採取した水生生物の観察

- ・河川の水質、水生生物の生息環境等の説明
- ・採取した水生生物を顕微鏡で観察





3. 環境学習プログラム「"水" 調査隊」の紹介及び実習

(講師:NPO法人環境学習研究会理事長 谷村春樹氏)

(1)環境学習のポイント ~体験の重要性・森は命のみなもと~

- ・子供は実際に物事を体験する中で、理解し、 気付き、学んで成長する。しかし、現代の 子供たちは、遊びや地域との関わりが希薄 であり、様々なことを体験的に学ぶ機会が 少なくなっている。このため、学校教育の 場で体験に基づき子供の感性を伸ばすこと が、昔と比べ非常に重要。
- ・環境学習もその一環であり、「自然は人間や すべての生き物のいのちの源である」こと



を、実際の体験や気付きを通じて、子供の心の中に落とし込むことが大切。

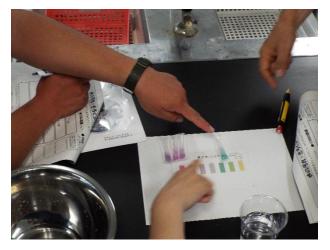
- (2)「"水"調査隊」プログラム紹介
- ① 「水の汚れ減らし隊」パックテスト編

【パックテストによる水の汚れ調べ体験】

- ・水道水、ソースを垂らした皿を洗った水、ソースをふき取った皿を洗った水、多 摩川の水について、パックテストを実施
- ・CODの数値の高さ(汚れ度合い)について、見た目や印象(人間にとってのきれい、汚い)と実際に測定した数値結果が異なることを体感









②「水の汚れ減らし隊」廃油石けん作り編

- · DVD上映
- ・授業における講義内容説明
- ・生活排水を汚さない工夫紹介

(3) まとめ (質疑応答及び受講者同士の情報交換)

この日の研修を通じて、気づいたこと、感じたこと、授業での活用方法や各学校で 実施した関連事例等について、グループごとに発表し、受講者で情報を共有。









(発表意見の例)

- ・自分も川に入ることで子どもの気持ちに戻ることができた。やはり実体験が大切と感じた。地域性を工夫して取り入れたい。
- ・外の活動の制限が増えてきている。コーディネートしてもらう人脈があると有難い。
- ・水生生物調査は自分も久しぶりで、1日でもできるくらい楽しかった。教員が楽しんでいると、子どもにも伝わる。パックテストなど、自分の実体験の中で感じることができるような授業をしていきたい。
- ・4年生の生きものの四季変化では教科書にツバメが出てくるが、全員に実際に見せて 教えるのが難しいのが悩み。パックテストで水の汚れを拭いてから調べてみるという のは、教科書にも載っているし、実体験を伴うことができる内容だったので、早く取 り入れれば良かったと感じた。

4. 事務連絡、アンケート記入等(事務局)

アンケート提出後、解散